

第24回地域福祉実践研究セミナー in 愛知・半田 開催要項

テーマ **0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりをめざして**
— 地域共生社会の実現にむけた包括的支援体制の戦略 —

開催主旨

地域共生社会の実現にむけて、社会福祉法が改正されるなど地域福祉をめぐって大きな転機を迎えている。日本地域福祉研究所は1995年に発足以来、日本各地の地域福祉実践から学び、また研究を通して後押しをしてきた。今日の地域福祉を推進するうねりの一端は、この「地域福祉実践研究セミナー」が創りだしてきた成果でもある。

今回、そのセミナーの舞台となる愛知県半田市は、知多半島の中心に位置し、古くから栄えてきたまちである。そうした文化や伝統を背景に、市民活動が盛んなところでもある。地域福祉においても、様々な取り組みが生まれている。そうした点を大きなネットワークで結び、さらに半田市だけではなく、知多半島全体で、0歳から100歳の地域包括ケアシステムを目指している。

本セミナーは、半田市、半田市社協、市内の社会福祉法人やNPO法人、そして地元の日本福祉大学が協働して実行委員会を組織し、日本地域福祉研究所とともに準備に取り組んできた。

古くて新しいテーマである「すべての人が安心して暮らせる地域づくり」を、今日的な政策と先駆的な実践、そして裏付けになる研究を重ねて、一人ひとりの参加者とともに学び合いたい。

主催 第24回地域福祉実践研究セミナー実行委員会／日本地域福祉研究所

共催 半田市／半田市社会福祉協議会／日本福祉大学地域ケア推進研究センター

後援 日本福祉大学／日本生命財団／日本地域福祉学会／愛知県社会福祉協議会

期日 2018年8月31日（金）～9月2日（日）

1日目 全体会／交流会

2日目 ワークショップ7会場／懇親会（各分科会ごと）

3日目 全体会

会場 アイブラザ半田 半田市役所 ほか

参加対象者

行政職員、社会福祉協議会役職員、NPO法人・社会福祉法人等の職員、コミュニティソーシャルワーカー、地域福祉活動実践者、民生委員・児童委員、学校関係者、その他地域福祉に関心のある方

プログラム

1日目【8月31日（金）13時00分～17時30分】 全体会 アイプラザ半田

○受付／12時～13時

○開会式 13時～13時15分

あいさつ／特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策さん
半田市社会福祉協議会会長 後藤章次さん
日本福祉大学学長 児玉善郎さん

○オリエンテーション 13時15分～25分

○大円卓会議 13時30分～17時20分

第Ⅰ部 半田市の取り組みの現状と課題

戸枝陽基さん（社会福祉法人むそう理事長・日本福祉大学客員教授）
渡邊千恵さん（NPO法人りんりん理事長）
前山憲一さん（半田市社協 事務局次長）

第Ⅱ部 包括的支援体制の構築にむけた論点は何か

藤森克彦さん（日本福祉大学）
野尻紀恵さん（日本福祉大学）
宮城孝さん（日本地域福祉研究所副理事長・法政大学）

第Ⅲ部 地域共生社会は日本の地域や福祉現場をどう変えていくか

大橋謙策さん（日本地域福祉研究所理事長・日本福祉大学客員教授）
白澤政和さん（桜美林大学院教授・日本福祉大学客員教授）
児玉善郎さん（日本福祉大学学長）

コーディネーター 原田正樹さん（日本地域福祉研究所理事・日本福祉大学）
平野隆之さん（日本福祉大学）

17時30分 連絡事項・終了

○全体交流会 18時30分～20時30分 半田市福祉文化会館 講堂

あいさつ／半田市長 榊原純夫さん
日本地域福祉研究所副理事長 田中英樹さん

2日目【9月1日（土）9時30分～17時00分】 ワークショップ

実践報告者から主に半田市での取り組みを発表いただき、参加者全員で「私の地域でできること」等を話し合い、共有することを目的にワークショップを行います。*内容等が一部変更する場合があります。ご了承ください。

尚、会場は下記の各分科会「ワークショップ内容」をご参照ください。

○ワークショップ内容：

1	テーマ	ふだんの生活の中での「ふくし共育」
	会場	半田市役所4階 または アイプラザ半田 *お申し込み後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	日本福祉大学 社会福祉学部 野尻紀恵さん 日本地域福祉研究所客員研究員（同志社大学） 上野谷加代子さん
	実践報告者	NPO法人共育ネットはんだ代表 水野尚美さん NPO法人ゆめじろう 坂本ちひろさん
	内容	<p>地域住民一人ひとりが、地域に暮らす子どもたちの中にある「生活課題」に気づくこと。また、子どもたちが、生きる力を育む中で「地域課題」に気づくことで、同じ地域に住む住民として、互いに「ささえあう」関係となるために、どのような「ふくし共育」が必要なのか、参加者が日頃感じている「課題」をもとに、共に考えます。</p> <p>【キーワード】 “支えられるだけ” の人はいない ふだんの生活の中の“ふくし” 子どもが抱える生活課題 地域住民の“気づき” 0-100歳までの学びあい</p>

2	テーマ	防災・減災活動から見えてきた「地域福祉」
	会場	半田市役所4階 または アイプラザ半田 *お申し込み後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	日本福祉大学 福祉経営学部 山本克彦さん 日本地域福祉研究所(早稲田大学) 大島隆代さん
	実践報告者	社会福祉法人半田市社会福祉協議会 減災地域ささえあいセンター 水野節さん 宮路町(半田市)町内会自主防災会 沢田ミカさん
	内容	<p>愛知県は南海トラフ巨大地震が発生した場合、甚大な被害が想定されています。過去の大規模災害からの学びを軸としながら、災厄をどう乗り切るのか、その被害を最小限に食い止めるには何をすべきなのか。“地域福祉”の視点から意見交換し、災害時を想定したグループワークを実施します。</p> <p>【キーワード】 福祉避難所 防災・減災に関する地域住民との協働 被災地支援 災害時救急医療・福祉情報システム 災害ボランティアセンター</p>

3	テーマ	地域包括ケアシステムと地域住民の協働 ～半田市岩滑区の取り組み～
	会場	特定非営利活動法人りんりん
	アドバイザー	桜美林大学院・日本福祉大学客員教授 白澤政和さん 日本地域福祉研究所 國光登志子さん
	実践報告者	特定非営利活動法人りんりん代表 渡邊千恵さん 社会福祉法人半田市社会福祉協議会 地域包括支援センター 澤田道さん
	内容	<p>半田市がある知多半島は、全国屈指のNPO活動が盛んな地域です。福祉はもちろんのこと、教育・観光・環境・まちおこし等、様々な分野のNPO法人が活躍しています。</p> <p>その中でも「岩滑区」では、地域住民・NPO法人・社協が協働して、高齢者の安否確認・要援護者に配慮した避難訓練・観光振興・まちおこしなどに取り組んでいます。</p> <p>地域の特性を活かした地域づくりから、半田市の地域包括ケアシステム構築のプロセスについて報告し、さらには地域共生社会の推進について考えていきます。</p> <p>【キーワード】 りんりん立ち上げの経緯 0～100の地域包括ケア ニッセイ財団助成事業（ごんの灯り等） 観光を通じてまちをよくする 地域ネットワーク</p>

4	テーマ	医療と福祉の連携～在宅での看取りをどう支えるのか～
	会場	社会福祉法人むそう アートスクエア
	アドバイザー ／実践報告	社会福祉法人むそう理事長・日本福祉大学客員教授 戸枝陽基さん *兼進行 日本地域福祉研究所(大正大学) 神山裕美さん 諏訪中央病院 副院長 高木宏明さん すみれ訪問看護ステーション 株式会社すみれ社長 森田貞子さん
	内容	<p>地域包括ケアを推進する上で、在宅医療は最も重要な構成要素の1つです。それは地域社会において「24時間・365日の安心」につながります。そのためには医療と福祉が密接に連携して実施される必要があります。</p> <p>「人生の最期を在宅で迎えたい」というニーズの高まり、高齢多死社会の到来、医療依存度の高い障がい者・児の地域ケアなど、山積する課題にどう立ち向かうのかを考えます。</p> <p>【キーワード】 地域・在宅での看取り 医療と福祉の連携 地域包括ケア 地域移行支援 尊厳</p>

5	テーマ	「0-100の地域包括ケア」を目指す地域づくり ～空き家対策・居住支援の実践から考える～
	会場	半田市役所4階 または アイプラザ半田 *お申し込み後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	日本福祉大学 国際福祉開発学部 吉村輝彦さん 日本地域福祉研究所(法政大学) 宮城孝さん
	実践報告者	UR都市機構中部支社 ウェルフェア推進課 課長 岡崎一郎さん 亀崎空き家対策プロジェクト委員 池脇啓太さん
	内容	<p>地域包括ケアを推進する上で、住まいの支援を含めた地域づくりはその根幹を為すと考えられます。障がいのある方の地域移行や高齢者の生活の場に関する課題を含め、支援が必要な方の「住まい」に関しては課題が多くあると考えられます。</p> <p>ここでは住居そのものを住みやすくするハード面と、身元保証や見守り活動といったソフト面の支援の両方を切り口に議論します。</p> <p>【キーワード】 シェアハウス 空き家対策 居住サポート事業 身元保証人がいない 地域拠点</p>

6	テーマ	総合相談支援体制と権利擁護
	会場	半田市役所4階 または アイプラザ半田 *お申し込み後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	日本福祉大学 社会福祉学部 平野隆之さん 日本地域福祉研究所(文京学院大学) 中島修さん
	実践報告者	半田市福祉部生活援護課生活困窮担当 主査 石島貴伸さん 特定非営利活動法人知多地域成年後見センター 事務局長 今井友乃さん
	内容	<p>支援が必要な人が住み慣れた地域でできる限り継続して生活をおくれるようにするには、自助努力を基本にしながらも保健・福祉・医療の専門職相互の連携による支援が必要です。そのためにはシームレスな相談支援の機能と、ボランティア等の住民活動などインフォーマルな活動を含めた“地域の様々な資源”を統合し、ネットワーク化していくことが求められています。</p> <p>ここでは、生活困窮や成年後見制度に焦点を当てつつ、これらを地域福祉計画にどのようにもりこんでいくのか、専門職・地域住民・行政等のネットワークを作り上げ、いかに連携して地域共生社会を作り上げていくのかを考えます。</p> <p>【キーワード】 地域福祉計画における相談支援 （生活困窮・成年後見を軸に） 権利擁護と権利侵害は両刃の剣 シームレスな相談支援 “専門職”ではないからできたこと 意思決定支援</p>

7	テーマ	まちをよくするしくみ ～ “志金” ファンドレイジングについて～
	会場	半田市役所4階 または アイプラザ半田 *お申し込み後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	日本福祉大学・社会福祉学部 日本地域福祉研究所客員研究員 野口定久さん 日本地域福祉研究所(琴平町社協) 越智和子さん
	実践報告者	社会福祉法人日光市社会福祉協議会 ファンドレイジング計画アドバイザー 長井一浩さん 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 理事 岡本一美さん
	内容	<p>地域福祉を推進する財源として、ファンドレイジング（活動する上で必要となる資金を集めること）が注目されています。従来の共同募金の考え方も含めて、寄付・会費・助成金（補助金）・事業収入・融資をいかに最適なバランスで獲得していくのか、そしてどう有効に活用していくのか、いっしょに考えましょう。</p> <p>【キーワード】 第4のポケット 遺贈 共同募金 情報公開 成果の可視化 ソーシャル・インパクト</p>

○交流会 18時30分～20時30分

各分科会ごとに開催します。分科会ごとに交流を深めます。

3日目【9月2日（日）9時15分～12時15分】全体会 半田市役所大会議室

- ワークショップ報告シンポジウム 9時15分～10時45分
コーディネーター／ 日本地域福祉研究所副理事長 小野敏明さん
シンポジスト（7人）／各ワークショップ研究所アドバイザー

- 総括講演 10時50分～12時00分
講師／
日本地域福祉研究所理事長・日本福祉大学客員教授 大橋謙策さん

- 閉会式 12時00分～12時15分
次期開催地あいさつ
閉会あいさつ

お申込み・お問い合わせについて

- 参加費 一般（3日間）：6,000円 学生（3日間）：2,000円
（1日のみ）：3,000円
その他ご希望者のみ
1日目 情報交換会 5,000円
2日目 昼食代 1,000円
分科会交流会 5,000円

- 申込先 名鉄観光半田支店
*別紙「参加申込書」「情報交換会・宿泊等のご案内」を
ご参照ください。

- 申込締切 平成30年8月3日（金）

- お問い合わせ 社会福祉法人半田市社会福祉協議会
愛知県半田市雁宿町1-22-1 半田市福祉文化会館内
☎ 0569-23-7361（担当：前山）
✉ 24chiikiseminar@handa-shakyo.com